九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

酵素を検出標的あるいは検出手段として用いたバイオ分析のための分子システムの創製

登, 貴信

https://doi.org/10.15017/1931882

出版情報：Kyushu University, 2017, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

（様式５－２）

氏　　名	登　貴信
論　文　名	酵素を検出標的あるいは検出手段として用いたバイオ分析のための分子システムの創製
論文調査委員	主　査　九州大学　教授　片山佳樹 副　査　九州大学　教授　今任稔彦 副　査　九州大学　教授　神谷典穂 副　査　九州大学　准教授　森　健

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本研究は、酵素を検出対象、あるいは検出手段として利用する新規なバイオ分析用分子システムの開発に成功し、その有用性を実証している。以上の成果は、創薬や診断の分野に大きく貢献する成果であり、材料化学の分野に寄与するところが大きい。よって、本論分は、博士(工学)の学位論文に値するものと認める。